



2013年2月期(第31期) 通期決算説明会

ソーバル株式会社

大阪証券取引所(JASDAQスタンダード)

証券番号:2186

平成25年4月17日

代表取締役社長

推津 順一

総スライド数:13ページ

Result

- 1-1 業績ハイライト
- 1-2 財政状態、キャッシュフロー
- 1-3 売上構成比(セグメント／主要顧客)
- 1-4 総括

Future

- 2-1 今期の見通しと業績予想
- 2-2 配当予想

Strategy

- 3-1 解決すべき課題
- 3-2 M&A戦略
- 3-3 R&D戦略

Information

- 4-1 株主優待制度

(百万円)

科目	2011年 2月期 実績	2012年 2月期 実績	2013年2月期			
			修正予算 (期初予算)	実績	前年 同期比	予算 達成率
売上高	5,852	6,126	6,440 (6,324)	6,433	105.0%	99.9% (101.7%)
営業利益	227	353	435 (370)	457	129.5%	105.1% (123.6%)
経常利益	239	※351	442 (374)	464	131.9%	105.0% (124.1%)
当期純利益	124	182	230 (205)	246	135.6%	107.4% (120.5%)

Point

修正予算に対し、ほぼ予定通りの着地。
前期比で増収増益を達成。

※2012年2月期の経常利益が以前に開示された内容と異なっておりますが、これは、当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用したものです。

科目	2011年 2月期	2012年 2月期	2013年 2月期
総資産	2,472百万円	2,624百万円	2,908百万円
純資産	1,887百万円	2,026百万円	2,204百万円
自己資本比率	76.4%	77.2%	75.8%
1株当たり純資産	869円25銭	※466円49銭	507円23銭
営業活動によるCF	344	114	343
投資活動によるCF	△16	29	△123
財務活動によるCF	△15	△43	△68
期末残高	1,216	1,318	1,469

Point

自己資本比率の微減は、利益増により納税額が増えたため。(引き続き無借金経営を継続)

Point

投資活動によるCFの内訳の主な要因は子会社を取得したため。期末残高は順調に増加。

※平成23年11月1日付けで1株につき2株の株式分割を実施。 (百万円)

Chapter 1-3 1.Result 売上構成比(セグメント／主要顧客)



科目	2011年 2月期	2012年 2月期	2013年 2月期
特定派遣	62.5%	63.5%	62.3%
業務請負	36.2%	34.6%	36.9%
その他事業(RFID等)	1.3%	1.9%	0.8%
キヤノングループ (内キヤノン株式会社)	79.1% (76.2%)	75.8% (72.7%)	70.7% (67.7%)
ソニーグループ (内ソニー株式会社)	8.7%	6.6%	7.4% (5.8%)
富士通グループ	非開示	非開示	8.7%
NTTグループ	非開示	非開示	4.2%
その他	12.2%	17.6%	9.0%

Point

子会社取得により業務請負比率が上昇も、ソーバル単体では派遣比率が微増。

Point

子会社取得ならびに、業務分散により、キヤノン、ソニー以外が21.9%と増加。

Point 1 キヤノンは横ばい、ソニー他は増加

Point 2 顧客の多様化により空き工数をほぼゼロに

Point 3 円高、カントリー・リスクの影響は軽微

増収増益を達成

課題

- 新卒教育のクオリティupとスピードupにより早期利益貢献
- 高稼働率状況を維持しつつ、効果的なパートナー活用
- MCTEC社の安定収益確保と、新たなM&A先の模索

新卒教育のクオリティupと スピードupにより早期利益貢献

取り組み

- 採用36名の早期戦力化
- 息の長いエンジニアの育成

高稼働率状況を維持しつつ、 効果的なパートナー活用

取り組み

- 請負案件のスムーズかつ
着実な受注を目指す

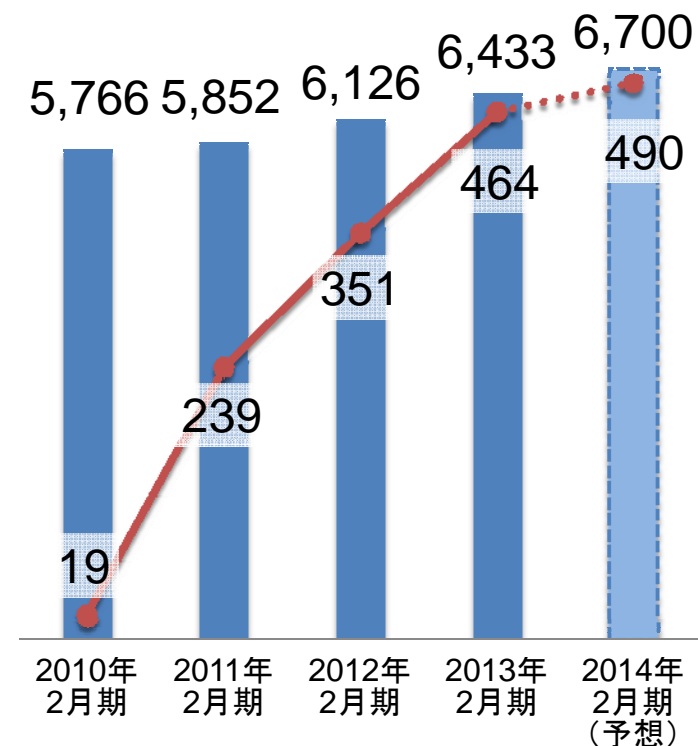
MCTEC社の安定収益確保と、 新たなM&A先の模索

取り組み

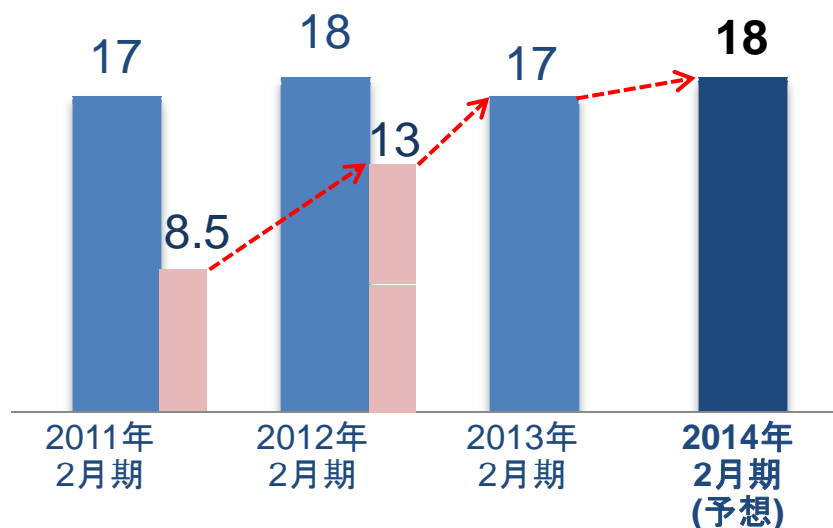
- 業務の山谷を埋める工夫
- コスト意識の徹底
- 新分野M&Aも視野に

業績予想

■売上高 ■経常利益
(百万円)



基準日	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2014年2月期 (予想)	8円00銭	10円00銭	18円00銭	29.5%
2013年2月期	8円00銭	9円00銭	17円00銭	29.9%
2012年2月期	10円00銭	8円00銭	18円00銭	31.0%
2011年2月期	7円00銭	10円00銭	17円00銭	29.6%



Point

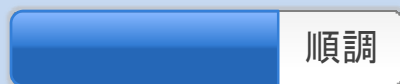
配当性向約30%の水準を維持。
2014年2月期は下期1円の増配を予定。

※平成23年11月1日付けで1株につき2株の株式分割を実施。

人材確保



①新卒採用を主軸とした
人材確保



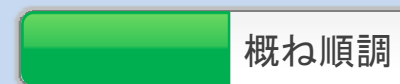
②中長期の採用計画と
環境づくり



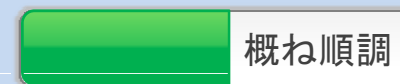
販路拡大



③特定顧客依存からの
脱却



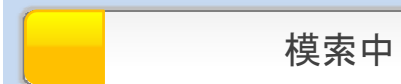
④為替変動等のリスクに
対応できる体制づくり



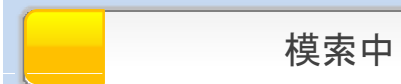
高齢化対策



⑤定年まで活躍できる
環境を構築

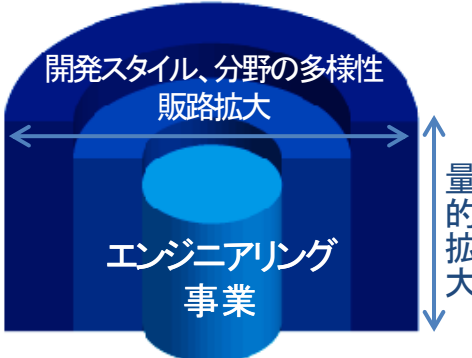


⑥労働集約型ビジネスに
頼らない収益の柱を確保



➤ Target A

- 後継者不足
- 営業力不足
- 1~3億
- 30~60名規模



エンジニアリング
事業の充実

➤ Target B

- 資金不足
- 0.5~1億
- 5~10名規模



- 高収益率が期待できるビジネス
- 年齢経験が活かせるビジネス
- 将来性のあるビジネス
- 良い人材(技術者・非技術者)のいる会社

エンジニアリング
事業に依存しない
新たな収益の柱

新分野への対応

Android / iOS



✓新規顧客開拓

✓開発依頼

先端技術の要素開発

RFID関連 / 画像処理関係



✓特許取得

ネット関連分野

クラウドの活用等



✓ポータルサイト運営

✓M&A戦略加速

第二四半期で発表した取り組みと大きな変化はございません

対象

毎年8月31日(基準日)、当社株式を100株以上ご所有の株主様

優待内容

東北の名産品やお米など4種類の優待品の中から、ご希望のギフトをお選びいただけます。ギフトのご指定がない場合は名産品をお届けいたします。

株主優待品
(前年実績)

1. 名産品



醤油とポン酢
のセット

2. お米



無農薬米
コシヒカリ(2kg)

3. おまかせ



りんごジュース
(3本)

4. 義援金



521,000円を
日本赤十字に寄付

贈呈時期

年1回実施、毎年1月下旬頃お届け

応募方法やギフト配送業者、その他株主優待に関する詳しい情報は当社ホームページをご覧ください。

役員、社員一同、一丸となって
企業価値向上に邁進してまいりますので、
引き続きご愛顧のほど
よろしくお願い申し上げます。